

食品リサイクルサロン No.8 “四谷カフェ Vol.7”



食品リサイクルの 新たな動きと農業への影響 - 欧州の最新事情などを交えて -

講師： 持続性社会研究所 & 農事組合法人百姓倶楽部
総務 石濱 寛徳 氏

食品リサイクルにおける廃棄物処理は焼却から始まって、時代と共に、堆肥化、飼料化などの多角的な展開を経て、最近ではメタン発酵ガス化発電へと進歩を遂げて来ています。この背景には、東北大震災による東電の福島原発事故を契機とした、再生可能エネルギーによる電力の買取り制度 (FIT 制度) が昨年7月からスタートしていることがあります。この方法は厳密な意味でのリサイクルではありませんが、食品廃棄物の処理には極めて有効な手段のひとつと言えます。堆肥化、飼料化は言うまでもなく、このメタン発酵ガス化発電も、排出される“液肥”の処理を考慮すると農業との関わりを無視できません。偉大な農業国であり、FIT 制度の先達でもある英国、仏国でのメタン発酵ガス化発電事業をつぶさに視察された石濱氏に、欧州の現状を交えながら、日本における同事業の今後を語って戴き、食品リサイクルの理解の一助にしたいと思います。



2013年 6月27日(木) 14:00~16:00

会場 ■ 主婦連合会・会議室 (千代田区六番町15) /
JR、東京メトロとも四ツ谷駅から徒歩3分 プラザエフ3階

参加費 ■ **無料** (ホットコーヒー：無料サービス)

食品リサイクルループで作られた農畜産物の試食を予定しています。
学びの後は、豊かな自然の味を味わいましょう。

お申し込み ■ 主婦連合会 TEL **03-3265-8121**

E-mail info@shufuren.net

主催 ■ 公益財団法人 有機質資源再生センター
協力 ■ (社団) 中央畜産会、主婦連合会、日報ビジネス(株)ほか